

長野県建築士会
佐久支部

ちくま



佐久の札所

第14番札所 千手院

南佐久郡佐久穂町平林263

佐久14番札所として、平林観音さまで知られている千手院は、天台宗に属し比叡山を総本山とし、仁寿年間（西暦851年頃）第三世天台座主を勤められました慈覚大師「圓仁」の開基で、現在まで76代、1150余年の法統を守る古刹です。

山号を平林山、寺号を津金寺と称し、千手観世音菩薩を本尊とし日本三津金寺の一寺です。

日本三津金寺とは、北佐久郡立科町山部の津金寺、甲州津金の津金寺（現在の海岸寺）と千手院の三箇寺で、寺号を同じくするのみでなく、ともに行基菩薩御手造りの三昧観世音菩薩像を各々本尊としています。



もくじ

支部長あいさつ	2
建築課長あいさつ	3
中間報告	4～5
委員会活動について	6～8
ウッドクラフト	9～10
賛助会員の紹介	11

ご挨拶

公益社団法人 長野県建築士会佐久支部 支部長
菊池 弘之



新年、明けましておめでとうございます。

2020年1月15日に日本で新型コロナ感染者が、確認されて、3年になります。会員の皆さんも、ワクチンを少ない方でも2回多い方は4回程接種されたと推測致します。長野県内の感染者数は2022年7月頃より3000人～1000人と多くの方が感染されておりますが、徐々に飲食店・外出・三密等が緩和されており、重症化の懸念が少なくなった要因でしょうか？

佐久支部も事業など自粛しておりましたが、昨年9月末の教育委員会の実務講習会・10月初旬に、青年女性委員会の大沢小学校小屋裏調査報告会、下旬に地域貢献委員会のウッドクラフト、総務企画委員会の三団体（士会担当）視察研修、情報広報委員会のちくま発行、関連する委員会・本会の東信ブロック開催のフォーラム・ゴルフ大会と再開されつつあります。

2月には、昨年、延期となった講師・竹内昌義氏による新年講演会も計画しております。

話は変わりますが、設計事務所に勤めて初年の年末に1月から他の事務所に転出を命じられ、2年先輩の方と正月明けより、某中学校の新築設計チームの一員となったが、朝9時～夜11時まで毎晩図面を描き、（当時は、当然ドラフターの手書きです）1月は実施設計前に、下書きを描かされ、2月になって、ようやく本実施図面を描き、3月中旬から積算になったのだが、その間、製図室の一画にコンペ計画担当の方がおり、計画図面を製作しながら、独り言を繰り返す担当の方で、声の大きさは、聞き耳をすれば内容が聞こえ

るが、製図の邪魔にはならないが、内容は『いやー凄いな、これは。』『いやー綺麗・流石・天才』等々、まさに自画自賛の数々。

深夜11時までなので夕飯の時間があり、その方も、同席されるので、独り言について尋ねると一人で計画をしていると、落ち込むことが多い、自分を煽って、持ち上げて、奮い立たせることで計画プランに立ち向かっている事を教えて頂いた。

私も真似し、夜中計画し、気分高揚で描きあげ、満足し就寝するのだが、翌朝に昨晚の図面を見て、あれは、何だっただろう？？？のパターンが殆どで、残念です。

その計画担当の方は、下新人の私にも優しくしてくれ、意匠・建築に関しても、質問を投げかけてくれるようになり、何とか回答するのだが、自信が無い自分は、『○○○○だと思います。』と答えると、『お前は、これから技術者として生きていくのならば、回答に、思う。を使うな！今後施主に質問されても、です。か、いいえ。答えて、判らない事柄の場合は、次回までに調べてきます。』と注意されたことを新年のこの時期に思い出します。

今年は、マスクも必要なくなり、以前の生活に戻り、会員の皆さんと晴れやかに会えることを祈っております。各委員会の方々もそれぞれ、企画を考えて頂いております、事業等にご参加の程、宜しくお願ひ致します。

新年のご挨拶

長野県佐久建設事務所 建築課長
三好 由美子



謹んで新春の祝詞を申し上げます。

4月の着任以来、長野県建築士会佐久支部会員の皆様には、長野県の建築・住宅行政に多大なる御協力を賜り、誠にありがとうございます。本年も、変わらぬ御支援をよろしくお願いします。

ところで、皆様は、余暇に何を楽しんでいらっしゃいますか？ 私は、千曲市のアマチュア弦楽アンサンブルに所属して、ヴァイオリンを弾いています。

ヴァイオリンの本体は、木材です。表板、裏板、側板、ネックや指板が、膠（にかわ）の接着だけで組立てられています。16世紀には現在の形が完成したようですが、どのような経緯であの形になったのかは、説明されていません。楽器の調整をお願いしているマイスターによると、板材の厚みは、約3mm¹⁾とのこと。表板・裏板とも微妙なむくりがあるおかげで、薄さのわりに丈夫なのかもしれません（ヴォールト構造？）。

また、1700年頃に作られたストラディヴァリウスのように、製作者が意図していたかはともかく、300年以上使い続けられている楽器も珍しくありません。私の楽器も、1897年製です。100年超の楽器も、アマチュアが容易に手に入れられるくらい流通しています。表板上の駒（写真）は、弦4本の張力²⁾だけで固定されていますが、演奏時には弓を通して腕からの力も加わり、薄板には過酷な環境です。木製ですから、乾燥や衝撃で簡単に割れたり欠けたりします。

破損すれば修理が必要になります。が、部材を接着している膠の層のおかげで、木材本体を傷めずに全ての部材が分解できます。見た目への影響を最小限に抑え、裏面・内側からの修理が可能になっているのです。

もっとも、全てのヴァイオリンが数百年間使われるわけではなく、数年で使われなくなる楽器もあります。修理してでも使いたいと思える性能が必須ですし、丁寧に作られた楽器でなくては、修理ができません。

そんな楽器に毎日接していると、日本で建てられている木造住宅の寿命が、気になってきます。たしかに、木造住宅は、地震や風の力に耐え、湿度や雨漏りで劣化もします。設備や間取りが、生活習慣に合わなくなることもあるでしょう。「修理してでも残したい」とは思えない造りなのかもしれません。それでも、3mm厚の楽器が100年以上も使い続けられ、120mm角の柱で作られた住宅が、「数十年で住めなくなる／住みたくなくなる」のでは、あまりにも、もったいない！

住宅の絶対数が不足していた時代も過ぎ、長持ちする性能や更新可能な機能を備えた住宅が選ばれるようになりました。ストラディヴァリ製作の“長期優良ヴァイオリン”のような「長く使いたくなる」建築に関われたら、建築士冥利に尽きるのではないかと思う今日この頃です（結果が出るのは100年後ですが）。

最後になりましたが、建築士会佐久支部の益々の御発展と、会員各位の御健勝と御活躍を祈念申し上げ、会報「ちくま」第68号発刊の御挨拶といたします。



ヴァイオリンの駒

- 1) 板の場所により、厚みに差異あり。ヴァイオリンの数倍大きいチェロでも約4mmなので、チェロの方が衝撃に対して壊れやすい。
- 2) 佐々木ヴァイオリン製作工房のHPによると4～8kgf/本。
<https://www.sasakivn.com/werkstatt/report/saitenschpan.htm>
- 3) “f字孔”越しに見える黒い部分（直径約6mmの円柱）。駒同様、弦の張力で固定されている。表板の振動を裏板に伝える唯一の部材。

令和4年度事業中間報告

月 日	行 事 名	場 所
4.4	第9回地域貢献委員会	Zoomミーティング
4.14	第6回三役会	かつ栄
4.16	青年女性建築士の集い	Web開催
4.18	第8回青年女性委員会	Zoomミーティング
4.21	第7回三役会及び第6回幹事会	佐久市民創錬センター
4.22	県フォーラム実行委員会	Zoomミーティング他
4.27	県三役会	長野県建築士会館
5.10	県三役会	Zoomミーティング他
5.10	第2回支部長選出検討委員会	Zoomミーティング
5.12	県三役会及び理事会	Zoomミーティング他
5.13	空き家相談会	佐久合同庁舎
5.16	関プロ実行委員会	Zoomミーティング
5.20	第12回協議会	佐久グランドホテル
5.21	関プロ青年協長野大会リハーサル	長野市他
5.23	第1回青年女性委員会	Zoomミーティング
5.25	旧大沢小学校小屋裏調査事前準備	旧大沢小学校
5.28	県第72回通常総会	浅間温泉文化センター
5.28	旧大沢小学校小屋裏調査	旧大沢小学校
6.2	第2回青年女性委員会	e-cube
6.15	県三役会	長野県建築士会館
6.15	空き家相談会	佐久合同庁舎
6.15	関プロ青年協長野大会	Web開催
6.20	県フォーラム実行委員会	Zoomミーティング他
6.21	建築指導員パトロール	小諸地区
6.22	建築指導員パトロール	佐久地区・南佐久地区
6.24	県三役会及び理事会	Zoomミーティング
6.26	建築・住宅（空き家）相談会	佐久市民創錬センター
6.27	建築指導員パトロール	御代田軽井沢地区
6.27	第1回情報広報委員会	山水
6.28	第1回三役会及び第1回幹事会	佐久平交流センター
7.5	第1回地域貢献委員会	佐久市民創錬センター
7.5	佐久木造住宅耐震推進協議会反省会	かつ栄
7.6	東信ブロックゴルフコンペ	ウィーゴカントリー倶楽部
7.7	県住宅ストック活用対策委員会	Zoomミーティング他
7.7	第3回青年女性委員会	佐久市民創錬センター
7.13	第1回教育事業委員会	かつ栄
7.15	県防災委員会	Zoomミーティング
7.21	県青年女性委員会	Zoomミーティング
7.24	第2回情報広報委員会	岩崎観音堂
7.25	県組織改革タスクホース	長野県建築士会館

月 日	行 事 名	場 所
7.25	第3回支部長選出検討委員会	県立武道館
7.27	第2回地域貢献委員会	佐久市民創錬センター
8.1	県建築士フォーラム実行委員会	Zoomミーティング他
8.3	第1回総務企画委員会	Zoomミーティング
8.8	県組織改革タスクホース	長野県建築士会館
8.10	県法人改革部会	長野県建築士会館
8.15	空き家相談会	佐久合同庁舎
8.19	県選挙管理委員会	Zoomミーティング他
8.23	第3回地域貢献委員会	佐久市民創錬センター
8.24	県三役会	長野県建築士会館
8.24	県建築士フォーラム実行委員会	Zoomミーティング他
8.24	第1回三役委員長会議	Zoomミーティング
8.26	県支部長会創設事前会議	Zoomミーティング
9.2	県三役会及び支部長会及び理事会	松本市他
9.8	県総務情報委員会	Zoomミーティング
9.8	第2回三役会及び第2回幹事会	Zoomミーティング
9.12	県防災委員会	Zoomミーティング
9.13	第4回地域貢献委員会	佐久市民創錬センター
9.14	県法人改革部会	長野県建築士会館
9.14	第2回総務企画委員会	Zoomミーティング
9.15	空き家相談会	佐久合同庁舎
9.16	三団体親睦ゴルフコンペ	望月東急ゴルフクラブ
9.24	県建築士フォーラム実行委員会	上田市
9.27	第1回実務講習会	佐久平交流センター
9.27	第2回教育事業委員会	佐久平交流センター
10.3	代議員選挙立候補者受付	佐久合同庁舎
10.7	県ゴルフ大会	蓼科高原カントリークラブ
10.8	旧大沢小学校小屋裏調査報告会	旧大沢小学校
10.11	第5回地域貢献委員会	Zoomミーティング
10.11	第3回情報広報委員会	Zoomミーティング
10.14	第64回建築士会全国大会あきた大会	秋田県
10.17	第4回情報広報委員会	Zoomミーティング
10.18	建築指導パトロール	小諸地区
10.19	建築指導パトロール	佐久地区
10.20	建築指導パトロール	御代田・軽井沢地区
10.20	第5回情報広報委員会	Zoomミーティング
10.21	建築指導パトロール	南佐久地区
10.23	親子で作ろう！ウッドクラフト	イオンモール佐久平店
10.24	第6回情報広報委員会	Zoomミーティング
10.30	第7回情報広報委員会	千手院
11.5	建築士フォーラム2022	上田高砂殿
11.8	第6回地域貢献委員会	佐久市民創錬センター
11.9	第8回情報広報委員会	Zoomミーティング
11.15	空き家相談会	佐久合同庁舎
11.24	県三役会	長野県建築士会館
11.25～26	三団体合同研修旅行	静岡県

//////////////////// 令和4年度

総務企画委員会活動報告

総務企画委員長 上原 啓二 //////////////////////

新年明けましておめでとうございます。新春を迎え、皆様のご多幸とご健勝を心からお祈り申し上げます。

令和4年度の総務企画委員会の活動について報告いたします。昨年度は新型コロナウイルスに振り回され、中々予定していた事業を実施することが出来ませんでした。今年度は何とか予定通りに進められています。

昨年度、士会が幹事で中止になってしまった三団体親睦ゴルフコンペですが、今年度は防災協会が幹事で9月に無事開催されました。関係者の皆様、お疲れ様でした。

三団体合同研修旅行も昨年度中止になってしまいましたが、今年度は実施することが出来ました。24名の方にご参加いただき静岡方面へ行ってきました。有名建築の視察、富士山もバッチリ綺麗に見れ、また美味しい食事やお土産、おまけに旅行割の適用で旅費の割引や買い物クーポンまでいただけ、大変充実した研修旅行になったかと思えます。

緊急災害時連絡網は市町村及び関係者に配布が完了しました。連絡網は、災害時に県・市町村との協定に基づいた被災建築物応急危険度判定を実施する際に重要な連絡網ですので、実情に合わせた更新を行っています。

新年講演会は昨年度に講演いただく予定であった東北芸術工科大学教授、(株)みかんぐみ 共同代表等をされている竹内昌義様に講師を依頼し「ゼロカーボン社会の建築のあり方～2030年までにやるべきこと」という演題で講演いただきます。(この文章が皆様の目に届く頃は終わった頃かと思えます…)長野県においても温暖化対策は長野県ゼロカーボン戦略が発表される等、重要な位置付けとなっています。この講演会が皆様の業務等の参考になり、また、新しい知識を得る機会になれば幸いです。

令和4年度も残りわずかですが、引き続き、支部長をはじめ副支部長、副委員長、委員の皆様と協力しながら委員会活動を行なっていきたいと思えます。



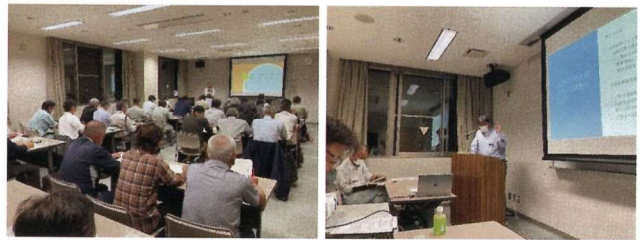
//////////////////// 令和4年度

「縁起の良いうさぎ」

教育事業委員長 大町 栄一 //////////////////////

うさぎは古くから縁起が良いとされるかわいらしい動物です。古事記の縁結びや子たくさん、また長い耳で周辺情報を一早く収集する能力を持ち、漢字の「兎」が「免」まぬがれるによく似ていることからうさぎは災難、悪運、邪気などから免れることができると言われています。新型コロナウイルスに翻弄され経済が悪化し、今までの生活様式まで変わってしまいました。うさぎ年となる2023年は新型コロナウイルスから皆が免れ、すべての物事が順調に進むことを願います。

教育事業委員会では、新型コロナウイルスの感染状況を鑑みて9月27日に「改修解体に伴う石綿含有建材の取り扱いについて」講習会を開催することができました。



当日は40名を超える受講者に参加していただき会場の佐久平交流センター視聴覚室が満杯になってしまいました。この時はだいぶコロナの感染者も減っており感染者を出すことなく無事に済みましたが、この数日後には佐久市内で感染者が大幅に増える事態となりその後の講習会、見学会が開催出来ておりません。今後は数年の持ち送りとなってしまったJAXA美笹深宇宙探査地上局見学会をはじめ、新たに施設設備の除菌・加湿コントロールシステムの講習会、小諸旧本陣改修工事見学、軽井沢町三笠ホテル改修工事の見学会など情報を集めて、微力ながらも会員の皆様の能力の向上にお役に立てるような企画を立てられるように教育事業委員会全員で頑張って活動していきたいと考えております。いつものながらのお願いですが、皆様からの「こんな研修会、講習会をやってもらいたい、気になる建築物があるので見学会を設けてもらいたい」等の希望並びに情報がありましたら、ぜひ当教育事業委員会にお声がけください。本年も宜しくお願いします。

令和4年度

令和4年度委員会活動について

地域貢献委員長 小泉 正樹

新年あけましておめでとうございます。地域貢献委員会としての主な活動予定としては令和4年度も「ウッドクラフト」と「防災マップ整備」を上げて進めて参りました。当初は防災マップの整備を7月までに終わらせ、引き続き秋のウッドクラフト開催に向けての準備を予定していましたが、新型コロナウイルス第6波の影響からか委員の中からも感染者や濃厚接触者が出るなどで委員会活動も思うように進めることが出来ず、昨年中はほぼウッドクラフトだけの活動となってしまいました。

一昨年、昨年と新型コロナ感染拡大防止から已む無くZoomを使ったりリモート開催とした「ウッドクラフト」でしたが、新年度早々開催した地域貢献委員会出席委員ほぼ全員の希望として「直接参加者の顔を見ながらの通常開催が理想」との意見から秋10月の通常開催を計画し、委員外会員の方々の協力も得ながら少しずつ準備を進めて規模は縮小したものの3年振りに通常開催を実施する事が出来ました。

また開催当日には委員外会員始め上田情報ビジネス学園の学生の方々にもご協力を頂き、この場をお借りして御礼申し上げます。

久しぶりの通常開催で感じたことは、例年開催前に新聞等各種メディアを通じて募集をしていながらなかなか思うように希望者が集まらず、当日会場でのPRでなんとか予定数をこなしていたのですが、今回は各時間帯の当日希望枠を除き事前予約枠がほぼ埋まったことに驚かされたこと。長期間に及ぶ新型コロナ感染防止の行動制限から一般の方々が各種イベントの開催を心待ちにしていたのだらうと感じました。

またモニタを通してでなく参加者の顔を見て触れ合えることで、制作している最中の真剣な様子や完成した時の嬉しそうな表情を直接目にし、より多くの感動を共有することが出来ました。

昨年も同じ事を書きましたが、今年諸般の都合で参加出来なかった会員の皆さんも来年の開催では是非参加して頂くことをお勧めします。

今年は早々より残った防災マップの整備を進め、今年度中の佐久全域のマップデータ化完成を目指して活動中です。

令和4年度

ホームページの刷新

情報広報委員長 両川 正

初春の御喜びを謹んでご挨拶申し上げます。

旧年中は、原稿執筆や写真のご提供など、ひとかたならぬご厚情を賜り、誠にありがとうございました。

皆様にはすこやかなお正月を迎えられたと存じます。

旧年中は、年の始まりの新型コロナの感染予防から、年末には身の回りでも感染が実質的な感染という問題になりまして、皆様も業務に支障の出る局面もあったかと思えます。

そんな中、ワクチン接種も4回目となり、ワクチンを打っている方が感染しにくいのか？感染しても重症化しない？とも言われ、しかし、昨年11月には「ワクチン被害者遺族の会」が発足したり、未曾有のウイルス感染と緊急使用のワクチンに、人々の思考も併せて揺さぶっている感があります。

さて、会報ちくまの校正作業の合間に、ホームページの作成の議題が上がっております。文化賞をとった建物の写真を、、各委員会の活動光景を、、画像のクオリティが、、等々の話しが廻っておりまして、実際にどこから作業に入るのか？明確な方向がないまま、前に進もうと思っておりました。

ホームページの作成にはワードプレスというソフトを使いと漠然には決まっていますが、委員会の中でそれで何が出来るのか？理解がなく、道具が分かっていないのだから、それを使ってどの様なページができるかを理解していない自分達の立ち位置が確認できた様な現在の状態です。

委員会の中から「ワードプレスを実際につかってみよう！」という声上がり、実際にサーバーを手配してワードプレスをダウンロードし仮想のホームページを立ち上げてみよう！というところまで運んでおります。

HTMLを知っていればwordでどうにかホームページを作られる20世紀は遥か彼方の過去になり、進化のテンポの速いインターネットに置いて行かれそうになり、化石として埋もれる前に、ホームページをどうにかしたいとの所存でございます。

インターネットに明るい方、HPの制作にご興味のある方、参加をお待ちしております。

//////////////////////////////////// 令和4年度

青年女性委員会の活動について

青年女性委員長 飯田 智 //////////////////////////////////////

新年、あけましておめでとうございます。

本年もよろしくお願い申し上げます。

昨年中は青年女性委員会の活動にご協力いただきまして、本当にありがとうございます。

昨年は、長野県関東ブロック甲信越大会。また、旧大沢小学校の調査活動。信州環境エココンテストなど地元の建築士の皆様や、長野県その他支部の方との交流が広がり、充実した1年とすることができました。重ねてお礼申し上げます。

青年女性委員長としての任期も残すところ僅かとなりましたが、青年女性委員の沢山のメンバーとの交流が広がる活動を、引き続き行なっていきたいと考えております。

旧大沢小学校の調査では、当時の大工さんが、日本ではまだ少ない洋風の建築物を目指して、持てる技術を生かしながら手探りで建物を作り上げていった様子を知ることができました。

どのような建物でも設計士・職人さん・監理者・様々で大勢の人が協力して作り上げていくのが建築の魅力であり、重要なことでもあります。会員の垣根を越え、お互いに情報を交換することで、より良い建築物の発展につなげていければと思います。

建築士会の更なる発展を目指し、青年女性委員会の活動へと繋げていければと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。



令和4年度「ウッドクラフト」に参加して

地域貢献委員会 星野 武光

佐久地域の方と建築士が交流できる、ウッドクラフトのリアル開催は大盛況でした。コロナでリモート開催が2年続き、遠隔地の方々との交流の可能性を発見できた事など新しい取組みともなりましたが、やはり、人と人が顔を合わせ、会話をし、同じ場所で一緒に作業できる事は、大変活気づき、高揚感あり、楽しいものでした。特に子ども達が苦勞しながら、保護者と手を取り合って作りあげる時間を間近で見るのは、造る楽しみの原点であると感じました。今回、建築士の作成補助者は建築士の確認申請業務を伝えながら、椅子と花台をなるべく参加者に接触しないように組立て手順を伝える仕方を実施しました。

地域貢献委員会 菊池 広美

作品を完成させた子供達の、達成感あふれる笑顔を見ると、やはりリモートでは味わう事のない、人と人の繋がりが感じられ、対面でのイベントの良さを実感しました。

沢山の予約を頂き、遅刻やキャンセルもなく、皆さんにご協力頂いた。以前は人目のある場所での申込順だった為、長い列ができたり、申込後に戻らない方もあり、受付も混乱することが多々ありました。待たせてはいけない意識も働いて、指導者に負担をかけてしまう事もあったと思います。

コロナ禍を体験したからこそ、新しいイベント開催の方法を皆で考え、良い形となったと思います。

地域貢献委員会 齊藤 絵美

10月23日(日)ウッドクラフトのリアル開催に参加させて頂きました。昨年のリモートで参加してくれた親子にも会えて嬉しかったです。4ブース作り40分ずつ時間を区切り、予約制で受付したのでスムーズに混雑もなく対応できたと思います。また、広告作成や会場手配、事前に木材をカットし、釘・ビスをわかりやすく袋詰めしてくれた地域貢献委員会のメンバーにも感謝致します。

完成した作品を手に、親子そろって笑顔で写真を撮ってもらっている様子にあたたかい気持ちになりました。長く続けてきた活動を継続させていくことが大切と感じました。



ウッドクラフトの感想

上田情報ビジネス専門学校 建築インテリア科 **平森 愛依**

建築で大きな役目を担う「木」を使って椅子を作るお手伝いをしました。

参加者が来るまでに実際に自分も体験してみました。釘を打つことが思っていたよりも難しく、私は一本打つだけでも苦戦していました。建物ひとつ建てる時は、一つもミスがあってはいけなし、一つのミスが大きなズレを生むので職人さんはすごいなと感じました。

ウッドクラフトの方では、参加者の補佐をしました。全体的に上達するのが早く、私自身はあまりお役に立てなかった気がします。椅子や花台を自分で作ることで、出来上がったものに愛着が生まれていいなと思いました。兄弟で参加して共同で作品を仕上げている人もいれば、競い合うように作業している人もいて楽しかったです。建築は難しいことも多いですが、頑張っていきたいなと思いました。

上田情報ビジネス専門学校 建築インテリア科 **松藤 紗花**

今回、ボランティアに挑戦してみて感じたことは、楽しさと大変さです。楽しさにおいては自分自身が机やイスを作ってみてインパクトドライバーや金づち、釘などの用具に触れてまた一歩自分自身の経験となりました。現役の大工さんに教わってから子供達のウッドクラフトのお手伝いをする事によって、より理解した上で子供達に教えることができました。大変さにおいては、自身の経験不足もあり、色々な建築士の方に助けを求め一つずつ習う大変さを知りました。また、子供達に教える際に、正しい道具の使い方を教えてあげるのも一苦労だったこと、子供達がやりやすいようにある程度は作ってあげる事など、実際に行動してみて大変さが分かりました。

以上の体験から、非常に良い経験になりました。また一つ成長ができたと感じています。今後も様々な活動に参加したいと思います。

上田情報ビジネス専門学校 建築インテリア科 **竹野入 大誠**

先日は、ウッドクラフト体験のボランティアとして参加させて頂き、ありがとうございました。建築を学んでいる者として、インテリアを一から自主制作するというのもとても大切なことであり、その際の道具の使い方や木材の組み合わせ方などの基本知識を覚える良い機会となりました。実際に現場で活躍をされているプロの方々に技術や、現場でのお話を聴かせて頂くことができました。今回は建築だけでなく、このようなボランティアのコミュニティでのお仕事を体験することができたことも、一つの学びになりました。子供と何かをするのが元々好きなものもあり、一緒に楽しみながら製作することができました。担当させて頂いたお子さんたちにも、この機会を通して、ものづくりの楽しさに興味を持ってもらえたらなと思いました。貴重な体験をさせて頂き、ありがとうございました。



賛助会員の紹介

畑八開発株式会社

長野県建築士会佐久支部の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

また、日頃より大変お世話になっておりますこと、厚く御礼申し上げます。

この度、賛助会員のご紹介という機会を頂きまして、誠にありがとうございます。

弊社「畑八開発株式会社」は、1951年、畑八開発企業組合として畑八村（現佐久穂町）で創業した会社です。翌年の1952年に建設業登録を受け、1972年に株式会社組織変更、土木工事・建築工事を軸に、地域の皆様のご支援を賜りながら、現在に至っております。

近年は、佐久穂町新庁舎建設工事、千曲病院大規模改修工事、佐久穂町統合小中学校等、近隣の公共工事を中心に実績を積み重ねてまいりました。そして、2018年には、民間建築工事に確固たる実績を持つ上田市の建設会社「株式会社 図南（となみ）」を弊社のグループに編入することができました。今後、東信地域全般での建設事業を更に伸ばしていきたいと考えております。

これからも、長野県建築士会佐久支部の皆様のご指導ご鞭撻の程、よろしく願いいたします。

また、皆様の益々のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。



畑八開発株式会社



賛助会員の紹介

株式会社カネト

長野県建築士会佐久支部の皆様には日頃より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

お陰様でカネトは「建築資材の販売」や「建築に関わる専門・特殊工事」を行う建設資材の総合企業を目指し、今年で創業76年を迎えることができました。

今も続くコロナ禍やウッドショックなどの危機を乗り越えていくために皆様との関係の大切さを痛感し、さらに『良い関係づくり』と『多くの協業』をしていきたいと考えています。

弊社では「先駆ける商品・仕組み」「確実な配送」「豊かな生活」「挑戦し成長」の思いを掲げ、小海店、軽井沢店、上田店、長野店の4拠点で地域密着での活動をしています。

その中で、『現場への納品』『専門工事における施工』そして『新しい商品・情報・工法・仕組みのご案内』、政府のおこなう各支援策への『対応サポート』などをさらに強化し、スムーズな現場・建築事業に貢献できればと社員一同考えておりますのでよろしくお願いいたします。

さて、弊社では新たに“LIFE UP FLOOR”というシリーズを立ち上げました。

ご好評いただいている無垢床材を中心に情報を発信しています。

ぜひ、一度ご覧ください。

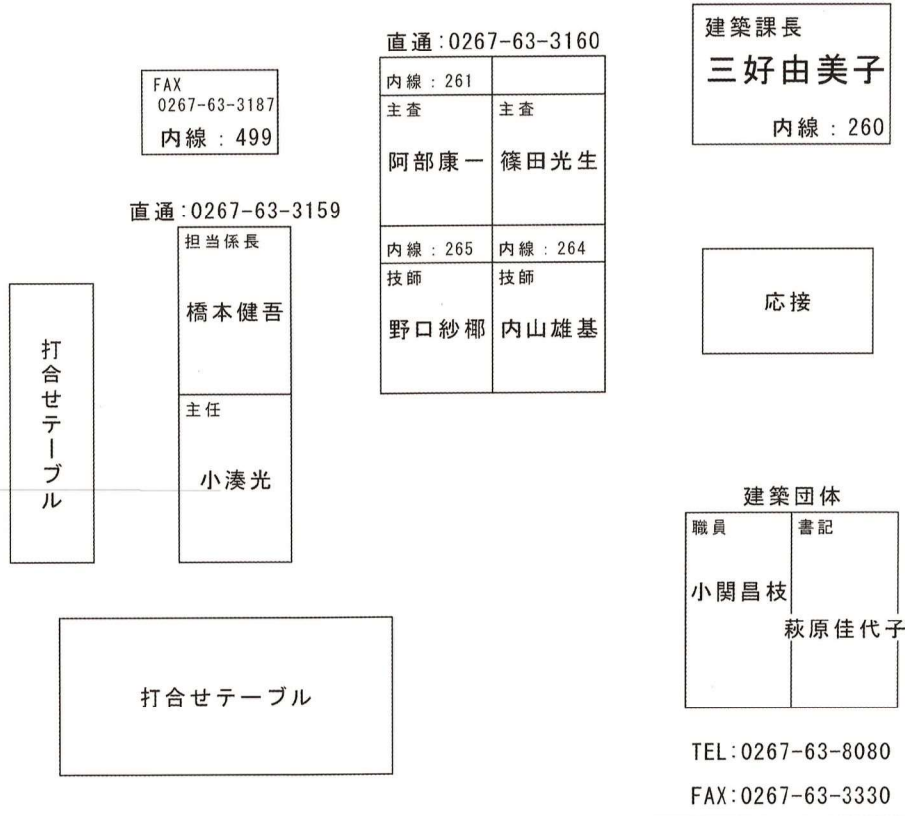
→<https://lifeup-floor.com>

他に、今注目されているエネルギー関係システムには多くの経験と自信があります、また独自の断熱システムなど色々な建材・工事を取り扱っておりますのでどの様なことでもお気軽にご相談ください。

最後に長野県建築士会佐久支部の皆様のご活躍、ご発展をお祈り申し上げます。



佐久建設事務所 建築課 配置図



***** ●編集後記● *****

表紙の写真

- ① 観音堂正面
- ② 太鼓橋と水子地藏
- ③ 賓頭盧尊者
- ④ 仁王門 仁王「あ」
- ⑤ 鐘楼
- ⑥ 観音堂



昨年末、毎年恒例の餅つきに参加し、偶然、地元が近い方々と出会い話しに花が咲きました。

また、20年ぶりに来たという方もいました。

餅つきといえば、稲作信仰があった日本では神事であり新年を迎えるにあたっての大切な行事であると同時にその場に集った人々の共同作業であり、一年に一度の束の間の邂逅の場ともなっておりました。この場があるという安らぎのなかで人と人とのつながりを感じる心地良い時間でした。

新しい年が喜びと希望にあふれた一年でありますように。

K. S

会報『ちくま』第68号 2023/2

発行者：(公社)長野県建築士会 佐久支部
情報広報委員会

事務局：〒385-8533 佐久市跡部65-1
佐久建設事務所内
TEL 0267-63-8080
FAX 0267-63-3330
E-mail: ken8080@seagreen.ocn.ne.jp
支部HP <http://www.aba-saku.com/>

印刷：ヨダ印刷サービス株式会社
TEL 0267-22-3330

